

広報

第59号



# 日大山形

平成25年10月2日発行

*Boys, be*

*Ambitious*



応援席へ駆ける ベスト4進出

勝ちどきの歌 とどろきわたる

夏の甲子園 山形球史に新たな1ページを刻む

# 県勢初ベスト4

「県勢初ベスト4進出」

この夏の快挙の裏には忘れられない戦いがある。それは七年前のベスト8だ。七年前一回戦からの登場であった本校野球部は、島根県代表開星高校、宮城県代表仙台育英高校に勝利した。ベスト8を賭けた三回戦の相手は、愛媛県代表の今治西高校。延長十三回までもつれる大激戦を制し、県勢初のベスト8を勝ち取った。あの興奮をもう一度味わいたいと激励の言葉を数多くいただき、本校野球部は、今年ついに六年ぶりの甲子園出場を果たし、そしてベスト4まで勝ち上がる事ができた。その戦いを振り返る。



甲子園へ向かって

山形県大会決勝後、奥村主将は県民に対し、「目標はベスト4」と高らかに宣言した。「山形県の球史を塗り替える」これが彼らの想いだった。過去六年本県代表校は甲子園での勝利から遠ざかっていた。甲子園で勝利する難しさを痛感していたからこそ荒木監督は「甲子園で勝つ」ことを目標にしていた。そしてどこに対戦しても戦えるチームを作り上げ、甲子園大会へ挑むこととなった。八月五日抽選会が行われた。全国が注目する中、同じ付属校であり、優勝候補の一角を担っていた日大三高との対戦が決まった。会場で日大対決にどよめいた。選手は強豪日大三高との対戦に苦笑したが、すぐに覚悟を決めた。自分たちは挑戦者である。一戦必勝。全力で戦い、勝って全国を驚かせよう。

二回戦 日大三高戦

一回表。主将奥村の先制2ランがチームに自信と勇気を与えた。チームの柱の奥村の一発がチ

ムに勢いをもたらした。

一点差のまま迎えた七回には、無死満塁から二番中野がライト前に二点タイムリーヒットを放ち、浅沼、武田がそれに続いた。七対一という結果を誰が予想していただろうか。しかし、この勝利がどこに対戦しても戦えるチームであることを証明したのは間違いないことであつた。そしてこの勝利が日大山形旋風の始まりとなった。

三回戦 作新学院戦

ベスト8に向け、エース庄司瑞が快投を見せた。一回表作新学院に先制を許すが、すぐ裏の攻撃で二死満塁とし、六番浅沼が逆転タイムリーを放った。一点差で迎えた八回には、庄司、青木の長打で二点を追加。五対二で勝利した。庄司は十二奪三振でベスト8進出に貢献した。県勢最高記録に並ぶ二度目の校歌が甲子園に響き渡った。しかし、まだ夢の途中。選手たちは夢への挑戦に向かって気持を切り替えていた。周囲の評価も変わっていた。全国優勝経験のある

伝統校、日大三高、作新学院を破つてのベスト8は私たちの自信となった。



準々決勝 明徳義塾戦

不思議と緊張感がなかった。夢への挑戦。選手たちは勝利を信じ、自分達を信じていた。試合が始まると、取られては取り返す展開となった。先発庄司も粘り強く投げ、ランナーは許すも最少失点に抑えていった。○対一、一対一、一対二、二対二、二対三。なかなか勝ち越せない展開のなかでも、選手、ベンチには不安は全くなかった。勝てる。ベスト4は絶対に諦めない。八回表、選手

の想いが形になった。一番青木がセンター前にヒットを放つ。中野が送りバントを成功させ、三番峯田の打球は左中間へ。三対三の同点に迫りつ

た。四番奥村は四球で歩き、打順は五番吉岡へ。

荒木監督から吉岡へ、「結果は気にするな」と、一塁走者の奥村からは「後悔するな」と声がかかった。吉岡が振り抜いた強烈な打球はライト前へ。四対三。ついに勝ち越しに成功した。九回裏最後のバッターをセカンドゴロに打ち取った瞬間、選手は右の拳を天に掲げた。「県勢初ベスト4進出」選手が目標としたベスト4が達成され山形の球史を塗り替えた。甲子園に流れる三度目の校歌が高らかに鳴り響くと、アルプスの応援団、学校で声援をくれた応援団は肩を組み一つとなってこの快挙を喜んだ。



### 甲子園メンバー

- 1 庄司 瑞 三年 (山形五中)
  - 2 浅沼 孝紀 三年 (山形十中)
  - 3 吉岡 佑晟 三年 (角田中)
  - 4 中野 拓夢 二年 (天童二中)
  - 5 板坂 紘貴 三年 (陵東中)
  - 6 奥村 展征 三年 (甲西中)
  - 7 峯田隼之介 三年 (山形一中)
  - 8 青木 龍成 二年 (中山中)
  - 9 武田 匠平 三年 (天童一中)
  - 10 齋藤 涼汰 三年 (陵東中)
  - 11 佐藤 和将 二年 (尾花沢中)
  - 12 熊坂 明紀 三年 (日大山形中)
  - 13 水戸 卓 三年 (東根一中)
  - 14 池田 優貴 三年 (山形五中)
  - 15 鈴木 雄大 二年 (山形一中)
  - 16 安食 文哉 三年 (陵南中)
  - 17 三浦 惇 三年 (山形四中)
  - 18 佐藤 大公 三年 (蔵王一中)
- 記録員 安部智貴 三年 (米沢七中)

## 激闘の軌跡

### 第95回全国高等学校野球選手権記念大会

#### 山形県大会

二回戦	日大山形	対	山形城北
	8		4
三回戦	日大山形	対	米沢興譲館
	9		0
準々決勝	日大山形	対	鶴岡東
	7		3
準決勝	日大山形	対	酒田南
	8		5
決勝戦	日大山形	対	米沢中央
	7		3

#### 甲子園大会

二回戦	日大山形	対	日大三
	7		1
三回戦	日大山形	対	作新学院
	5		2
準々決勝	日大山形	対	明德義塾
	4		3
準決勝	日大山形	対	前橋育英
	1		4



### 甲子園を通して

庄司 瑞 (山形五中)

甲子園という場所は本当に自分の実力以上のものを発揮することができる場所でした。大観衆が見守る甲子園独特の雰囲気、逆にかと思いましたが、逆に力へと変わり、さらに、心から楽しんでプレーすることができました。甲子園で一番実感したのは仲間の大切さでした。大声援の中でもしつかり聞こえるナインの声。ベンチからの声。数々のピンチがありましたがその声が私の背中を押し、乗り越えることができました。日々のつらい練習を一緒に乗り越えてきた最高の仲間、支えてくださった保護者の皆様、必死の声援を送って下さった日大山形の生徒の皆さん、先生方、すべての人に心から感謝したいと思います。ベスト4という結果を残すことができたのはすべての人の支え、応援があったからです。皆さんの声援が私たちに勇気と力を与えて

### 想いは形になる

浅沼 孝紀 (山形十中)

くれました。本当にありがとうございました。ありがとうございます。

甲子園という大舞台でのプレーは本当に楽しく、目標としていたベスト4を達成することができたことを私たちは本当に幸せに感じています。なぜ強豪校を相手に勝ち進むことができたのか。それは気持ちだと思えます。私たちは最後まで諦めませんでした。新チームになった時に甲子園ベスト4という目標を掲げました。東北大会にすら出られなかった私たちはベスト4なんて無理だと周囲から思われていたかもしれませんが、結果が出ず、苦しいことばかりでしたが、私たちは決して諦めず日々の練習を積み重ねてきました。目標達成への強い想いと、本番までの過程を大事にしてきたからこそ、この結果に結びついたのだと確信しています。最後になりますが、声援は大きな力でした。応援してくださった皆様に心から感謝いたします。ありがとうございます。

### 感謝・感動

野球部長 園田 剛樹

「野球が僕らを一つにする」今年の夏の選手権大会のキャッチフレーズです。この夏、選手はもろろん、学校、そして声援をいただいたすべての人たちが一つになれた気がしています。そして皆様の熱い想いが選手の背中を押し、勇気を持って戦い抜くことができました。県予選から甲子園大会まで熱くそして暖かいご支援とご声援、本当に有難うございました。心より感謝申し上げます。





U16ダブルス 3位  
佐藤 千晴・武田茉莉香  
・全国高等学校総合体育大会  
団体 シングルス 出場  
ダブルス 武田茉莉香 出場  
高内 麗・武田茉莉香 出場  
・全日本ジュニア選手権大会  
U16シングルス 出場  
武田茉莉香

女子ハンドボール部  
・山形県高等学校総合体育大会 優勝  
・東北高等学校ハンドボール選手権大会 3位  
・東北総合体育大会 3位  
・全国高等学校総合体育大会 出場

新体操  
・山形県高等学校総合体育大会  
個人 フープ・リボン・総合 優勝  
佐々木真子 (山形六中)  
・東北高等学校選手権大会  
個人 フープ・リボン・総合 2位  
佐々木真子  
・全国高等学校総合体育大会  
個人 フープ・リボン・総合 出場  
佐々木真子

文化部  
放送部  
・山形県高校放送コンテスト  
テレビドキュメント部門 優勝  
・NHK杯全国高校放送コンテスト  
テレビドキュメント部門 出場

ダンスドリル部  
・全国高等学校ダンスドリル選手権大会全国大会  
POM部門 2位  
ノヴェルティ部門 2位

### 第56回 桜華祭

雷電の如く一瞬に懸ける魂

夏休みが明けて間もない二日間、八月三十一日、九月一日は本校五十六回目の桜華祭であった。本校、特に野球部にとつて私たちの夏！と言つてもいいくらいに暑い暑い夏であつたが、その夏の終わりに素敵な熱さがキャンパスをおおつた。当日、校門受付で、あ



呉汝俊氏の記念公演



ダンスドリル部の発表

卒業生の方から質問された。なぜ「雷電」なんですか、と。そういえば一般公開日前夜は夕立と雷雨だった。準備段階から、雷鳴とともに様々な本校生の個性が出現しそうな期待があつた。文化の祭典にふさわしく、記念公演「文化の架け橋」として呉汝俊(ウー・ルーチン)氏の京胡の演奏で幕は開けた。体育館ステージで、教室で、文化部が、クラスが、学年が、様々に熱い一杯の発表を行った。全校企画として鶴文字で大きな「Boys, Be Ambitious!!!」を作した。記念公演で呉氏も聴衆に声をかけた。「五十六年目の学校に拍手！」この校歌のもと、私たちは日大山形高校の様々な個性を表現していく。一瞬一瞬を楽しみ、一瞬一瞬に懸ける。そんなことを表現しているような夏の終わりの祭だった。

### 体育祭

七月十六日、十七日の二日間にかけて体育祭が行われた。学年ごとに分かれ、クラス一丸スー一丸になつて戦つた。結果は以下のとおり。



#### 第三学年(山形県中体連)

##### バレーボール

(男子) 優勝 六組  
二位 二組

(女子) 優勝 一・二組合同  
二位 三、四組

三位 三、四組

二位 三、七組

三位 三、七組

##### バスケットボール

(男子) 優勝 十組A  
二位 二組

三位 十一組A

二位 十二組A

三位 六組

##### バレーボール

(女子) 優勝 二組  
二位 十一・十二組合同

三位 一・二組合同

八組

#### 第二学年(本校体育館)

##### バレーボール

(男子) 優勝 十一組  
二位 七組

三位 一、四組

(女子) 優勝 十二組  
二位 一組

三位 七、十一組

##### バスケットボール

(男子) 優勝 八組A  
二位 二組A

三位 八組B

(女子) 優勝 十組B  
二位 四組B

三位 三組

四位A

十三組

### 芸術鑑賞会

「これがパークッションだ！」六月二十五日に芸術鑑賞会が、山形市民会館大ホールで行われた。今年、芸術的なアンサンブルが魅力のOPE「岡田知之パークッションアンサンブル」とSHOWの要素たっぷりのPPP「パークッションパフォーマンス」の二つのグループによる演奏。音楽は聴くだけではもったいない。見ても楽しいのだ。笑いあり、感動ありのパフォーマンスに生徒一同心から楽しめた。



平成25年度  
ケンブリッジ大学ペンブルックカレッジ  
付属校生のサマープログラム 研修報告

ケンブリッジ大学で学んだこと

一年 大宮 聖(日大山形中)

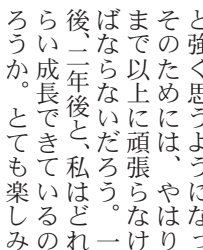
七月二十日〜八月五日の間、ケンブリッジ大学でのサマープログラム研修に参加してきました。私は英語が一番好きな教科で、研修に参加することがとても楽しみでした。しかし同時に、一年生の自分が参加するというところに不安もありました。研修で特に刺激を受けたのは、他校から参加していた友だちとの色々な『差』です。彼らは英語を得意としながらも、それだけではなく、部活やその他の特技など、力を注いでいることが一つではありませんでした。これらのことを含め、自分はまだまだ色々な面で努力不足であることを痛感しました。



右から2番目 大宮さん

そしてもう一つ感じたのが、大切なのは積極的に行動することだということです。最初、私は失敗を恐れ、わかっていないことでもわかったフリをし、上手くその場を逃れようとし、あまり自分から話しかけることはできませんでした。しかし、周りの友だちはいくら通じなくとも何度も聞き返

し、必死に理解しようとしていました。その姿を見て私は、失敗は決して恥ずかしいことなんかではないと思う、上手く取り繕おうとした自分の方が恥ずかしいと感じました。それから私は、少しずつ積極的に話しかけたり、行動するようにしました。そうすると、上手く会話できていないはずなのに、以前よりも学生たちとは仲良くなりさらに楽しくなりました。きっと大切なのは、成功させることより、そうしようという努力する姿勢。そしてそれは、どんなことにも通ずることだと思えます。今回の研修では、積極的にチャレンジする姿勢の大切さを学び、経験することができました。これらのことを、ただ感じた、学んだ、にするのではなく、これからの生活に活かしていきたいです。



左から2番目 清野さん

わたしは自分なりに、今まで様々なことに対して一生懸命に頑張ってきたつもりだった。しかし、今回の研修で多くの経験を重ねていくなかで、自分はまだまだ力不足だと感じた。そう感じた理由として、全国の日大付属高校から集まった人たちの存在が一番大きかったと思う。一人一人が、自分の将来について真剣に考え、それを実現するための明確な目標をしっかりと持っていた。それぞれが、それぞれの進路に対してきちんと向き合っているのが分かった。自分が見習わなければならぬ部分がたくさんあった。そして、英語を学ぶことに対する志が高い人ばかりで、意識の高さや熱意を感じた。それが自分にとってもいい刺激となり、日々の授業も積極的に受けることができた。また、時がたつにつれて英語を話すことに対する抵抗がなくなっていた。間違いを恐れてなかなか英語を話せなかった自分にとっては、とても

大きな成長だった。しかし、簡単な英語しか話すことのできない私にとって、スラスラと英語を話せる友達がとてもうらやましかった。外国の人と親しげに話しているのを見ると、少し悔しかった。自分の努力がまだまだ足りなかった。今回の研修は、私にとって貴重な忘れられない経験になった。そして私はさらに、英語に対する意識を高めることができたと思う。もっと英語を話せるようになりたい、もっと英語を勉強したいと強く思うようになった。そのためには、やはり今まで以上に頑張らなければならぬだろう。一年後、二年後と、私はどれくらい成長できているのだろうか。とても楽しみだ。

石塚 秀行(数学科)  
「二ユージーランドにおける数学教育とラグビー事情の調査」

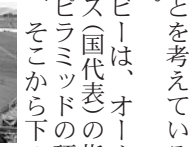
七月二十四日〜八月八日まで、二ユージーランドにて研修を行った。数学は日本とほぼ同じ内容であるが、統計分野では単に学ぶのではなく、統計を利用してレポートを作るなど、社会に出てか



パーマストンノース FMGスタジアム

らのかことを考えていると感じた。ラグビーは、オールブラックス(国代表)の指導方法がピラミッドの頂点にあり、そこから下の年代まで基本的な考えは一貫していること、を学んだ。

七月二十七日〜八月八日までドイツ、オーストリア、イタリア、フランスに行きました。ドイツ、オーストリアでは中世都市の建造物・自然と人と



ベルサイユ宮殿

海外研修報告  
鈴木 正明(国語科)  
「ヨーロッパの自然観・宗教観・近代化に関する歴史・文化の研究」

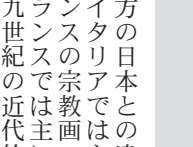
のあり方の日本との違いを見、イタリアでは主にルネサンスの宗教画・彫刻、フランスでは主に十八〜十九世紀の近代絵画からヨーロッパの宗教思想について勉強してきました。



ベルサイユ宮殿

ケンブリッジスキルアップ研修  
若木 健一(英語科)  
七月二十一日〜八月八日まで、イギリスのケンブリッジで研修を行った。今回も異様に暑い三十七度のロンドンに到着。少しづつケンブリッジの夏も落ち着きをとりもどし、耳も英語(米語ではなく)独特の詩を朗読するような音にも慣れてきた。

夜九時の明るい茄子紺の空を見上げながら、取り組んだ課題。十二人とウオームアップ、ディスカッション、プレゼンテーションの繰り返し。締めくくりは模擬授業・英語教授法の論文。フェアウエルパーティでは全員でオールドラングザイン。タフな内容だったのが、懐かしがペンブルック学寮だった。



授業風景

わたくしは自分なりに、今まで様々なことに対して一生懸命に頑張ってきたつもりだった。しかし、今回の研修で多くの経験を重ねていくなかで、自分はまだまだ力不足だと感じた。そう感じた理由として、全国の日大付属高校から集まった人たちの存在が一番大きかったと思う。一人一人が、自分の将来について真剣に考え、それを実現するための明確な目標をしっかりと持っていた。それぞれが、それぞれの進路に対してきちんと向き合っているのが分かった。自分が見習わなければならぬ部分がたくさんあった。そして、英語を学ぶことに対する志が高い人ばかりで、意識の高さや熱意を感じた。それが自分にとってもいい刺激となり、日々の授業も積極的に受けることができた。また、時がたつにつれて英語を話すことに対する抵抗がなくなっていた。間違いを恐れてなかなか英語を話せなかった自分にとっては、とても

大きな成長だった。しかし、簡単な英語しか話すことのできない私にとって、スラスラと英語を話せる友達がとてもうらやましかった。外国の人と親しげに話しているのを見ると、少し悔しかった。自分の努力がまだまだ足りなかった。今回の研修は、私にとって貴重な忘れられない経験になった。そして私はさらに、英語に対する意識を高めることができたと思う。もっと英語を話せるようになりたい、もっと英語を勉強したいと強く思うようになった。そのためには、やはり今まで以上に頑張らなければならぬだろう。一年後、二年後と、私はどれくらい成長できているのだろうか。とても楽しみだ。



授業風景

研修で得たもの

一年 清野 香菜子(大江中)

全国の日大付属校からの代表生徒四六名が今年もケンブリッジ大学で十七日間の研修を行った。先生方や大学生のアシスタントたちから、様々な授業、課外活動が用意されていて充実した毎日を送った。本校からは二名が参加した。

中学校

「異文化の理解」と「修学旅行事前準備」という目的で、十年ほど前から採用してきたブリティッシュヒルズ研修。授業で十分に英語のコミュニケーションシミュレーションをつけているので、この研修を楽しく実のあるものにしてきた。そして最後となった今回も、五月二十三日から二十五日の二泊三日で実施した。生徒たちは、ここが自分たちの家であり学校であるかのように堂々と振る舞い、いきいきと研修に取り組んだ。これまで、このブリティッシュヒルズ研修で日大山中の生徒たちは自分の英語力を磨きをかけてきた。そのことが、か



BHの先生方と記念写真



楽しかったTシャツ作り

つての「ロンドン修学旅行」、そして現在の「ハワイ修学旅行」を成功に導く要因となつては、今年もその成果が楽しみである。  
◎生徒の感想  
・日本とは違った雰囲気味わうことが出来て良かったです。二年生の時と比べて、現地の先生方とたくさん話をする事が出来てうれしかったです。  
・学校の授業みたいに日本人の先生がついていなかったので、外国にいるみたいでワクワクした。  
・心に残った研修は、家族に向けて英語で書いた手紙です。料理の豪華さや文化、習慣の違いなど驚きにあふれる研修でした。  
・一番面白かったのは、Tシャツ作りでした。思った通りの色を作り出せて良かったです。去年に比べて英語がだいぶ分かってきたせいも、今年の研修はとても楽しかったです。これを生かして、ハワイの修学旅行をもっと楽しみたいと思います。  
・ブリティッシュヒルズに行き、英国の雰囲気に浸ることができた。自分の心境が、自ら英語を話そうとする姿勢へと変化したことが、一番大きい刺激だったと思う。

最後の花笠パレード参加

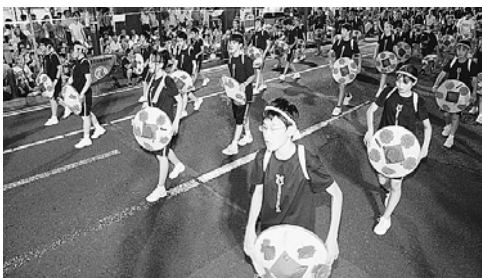
―多くの先輩の友情に感謝して―

本年度で閉校するため三年生十七名だけの参加予定であった。練習は過去二年間の参加経験があるので過去最少回数の六回で十分であったが、当初少数の参加だったために盛り上がり大きな不安があった。しかし参加本番では、現役日大山形高生(日大山形中OB)、他高校に進学した日大山形中OB、そして保護者(含むOB)の皆さんが続々参加してくれ、総勢約九十名となった。その友情と意気に在校生も大いに感激し最高の気分で踊りきることができた。

さらに、沿道では、本校教職員、保護者、卒業生たちの声援もあり、全員が大きな高揚感を味わうことができた。当初参加に対してためらいもあり迷いつつの参加であったが、最後の卒業生になる三年生にとって素晴らしい体験となった。参加して本当に良かったと今実感している。  
平成十七年の夏、当時



の事務長河野通教さんの何気ない一言「出てみたら」で始まったこのパレード参加は今年で九回目となりそして最後となった。笠も使い古し、何度も修復し先輩の心を感しながらの参加であったが、この九年前の河野事務長さんの一言と物資の支援、ジョン内倉(前ALT)先生の指導、そして本校高校OBの長田康仁氏の最初から最後まで九年間にわたる指導に頭の下がる思いだ。望むらくは、今後日大山形高生有志の参加に大いに期待したい。



中学校

平成二十五年 特待生の紹介

日本大学付属高等学校特待生(高校)  
日本大学付属高等学校特待生規程に基づき、学業成績・人物が優れた生徒  
村松可奈子(日大山形中) 松田 悠輔(山形七中) 新野 紘平(蔵王一中) 山元 彩可(山大附中)

佐藤 泰河(山形一中) 千葉 葵(玉野中) 齊藤 亮(山辺中) 草刈 康太(山形一中) 須藤 稜太(仙台折立中) 守屋 匠(陵南中) 後藤 優奈(陵南中) 吉川美由紀(台北A.S) 小関健太郎(中山中) 清野結友子(上山南小)

日本大学山形高等学校・中学校奨学生  
日本大学山形高等学校・中学校奨学金給付規程に基づき、学業成績又は入学試験の成績が優秀で人物が優れ健康である生徒。

高等学校  
須藤 里菜(陵南中) 石栗 拓(山形十中) 堀米 祐人(山形二中)

日本大学山形高等学校・中学校コカ・コーラ育英奨学生  
日本大学山形高等学校・中学校コカ・コーラ育英奨学金給付要項に基づき、学業成績が優秀で人物が優れ健康である生徒  
佐藤 真帆(山形二中) 花輪 美空(天童一中) 有海 舞祐(山形十中) 高橋 直大(山形六中) 沼澤 峻史(日大山形中) 小野 春希(町立朝日中)

新任職員紹介

平成二十五年 七月一日付・異動



経理長 佐々木 敦



特任課長補佐 久保 和之

高校の門をくぐるのは三十数年ぶりで埼玉の地から一路単身赴任の生活となり、公私共に生活が一変いたしました。一人一人の生徒のニーズに応じた教育環境の整備充実に向けてまいります。

国際関係学部から異動してきました。転勤早々甲子園という大舞台を経験させていただきました。山形での生活に慣れ、皆様の力になれればと思います。どうぞよろしく申し上げます。

# 学校説明会

全体説明と個別相談・校舎見学・部活動見学

	期 日	会場及び時間
第1回	平成25年 10月6日(日)	受付 9:20~ 9:55
第2回	10月20日(日)	説明会(第1体育館) 10:00~11:20
第3回	11月17日(日)	以下は希望になります。
第4回	12月1日(日)	個別相談 11:20~
第5回	12月15日(日)	校舎見学 11:20~12:00(予定) 部活動見学 11:20~12:10(予定)

※上記以外の期日に学校参観をご希望の方は、ご連絡なくお電話の上ご来校ください。  
※部活動見学については、学校説明会前にお問い合わせください。  
(担当/小笠原・渡部)

※学校説明会では、学校生活全般、並びに入試に関する詳しい説明をいたします。  
※事前のお申し込みは必要ありません。上履きをご持参ください。

### 第十六回 桜華同窓会総会・懇親会開催

平成二十五年七月六日、山形グランドホテルにて桜華同窓会総会が開催された。

総会後の懇親会では、「日大山形発 桜華フアンションシヨ」も開催された。衣装は、佐藤織維綱さんと米富織維綱さんの提供で、モデルは山形女子フェス実行委員長 志田美穂子さん他同窓生多数。ヘアメイクは、室岡良雄氏・荒井はる菜氏など、すべて日大山形卒業生で運営された。

恩師と語らい、終始和やかで、楽しい有意義な会であった。




中学校 体育祭

## フオト・ア・ラ・カイト



ベスト4進出を決めたナイン



巨大な風神・雷神  
(1学年企画のモザイクアート)



高校 体育祭



甲子園での校歌斉唱



学校での校歌斉唱



桜華祭



甲子園での応援風景



学校での応援風景



桜華祭

## 編集後記

気象庁の発表によると八月十二日の午後、四万十市で摂氏四十一・〇度を記録した。これは日本観測史上最高の気温である。いかに今年の夏が暑かったかである。しかし、この夏もっと熱く燃えた県があった。甲子園大会での勝率が最も低い、ベスト4を一度も経験していない県が熱く燃えたのである。県民の大きな応援を受けて、歴代優勝校を次々と倒す快進撃で山形の歴史を塗り替えた。

本校はもとより、県民に大きな希望と感動を与えてくれた。彼らが一年生として本校に入学してきた時、体は細く、この体格でボールが飛ぶのかと、不安であった。しかし、彼らの目標は高く日々その目標を追い続けた。彼らは野球だけを頑張ったのではない。学習においてもクラス役員としても一人一人が自分の成すべきことを一杯やっただけでなく、三年生諸君は、受験の真つ只中。君たちの仲間が偉業を達成した。今度は君たち一人一人の甲子園だ。目標達成のために自分を信じ、あきらめずに戦つてこそポイズンビーアンビシヤスなのではないか。

日本大学山形高等学校・中学校広報部  
〒990-2433 山形市鳥居ヶ丘四一五五  
電話 〇三三-六四一-六六三一(代)  
FAX 〇三三-六四一-六六三四  
URL <http://www.ymgf.hs.nihon-u.ac.jp>  
印刷 (株)大風印刷  
表紙写真提供 山形新聞社  
写真提供 (有)カメラの石山